

## ふるさと教育 取組事例

学校名	隠岐の島町立五箇中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な 学習の時間	隠岐（五箇）に貢献する	五箇で働く人、施設を利用されている方、隠岐の畜産、五箇の自然
ねらい	ふるさと学習の最終段階である中学3年生がこれまでの学習を活かし、ふるさと「五箇」の現状や課題を見つめ、地域と関わりながら解決していく学習活動を通して、将来を担う意識を高める。		

### 1 取組の概要

- ①五箇の地域に即した5つのプロジェクト課題を設定する。
- ②生徒達に自分達が探究したい課題を選択させ、4~5班（1班2~3人）に分かれて学習を進める。
- ③毎時間2時間連続となるように総合の時間を組み、生徒達が五箇の地区に出て体験をしたり、調べ学習ができるようにする。
- ④地域の人に向けて成果発表会を行う。

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### （ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

生徒の愛郷心や地域貢献への意欲を高めるため、五箇で働く人から実際の地域課題を聞き、解決方法を考えさせた。



#### （学力育成の視点から）

生徒自身が解決策を模索することができるように、地域に出かけ、働く人たちと同じ目線に立って一緒に考える場を設定した。

### 3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

#### （ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

地域に出て、地域の人と関わって学習を進めることで生徒たちが地域の良さを再発見したり、伝統を引き継いでいこうとする姿勢が見られた。



#### （学力育成の視点から）

行動することをゴールに据えたことで、調べて終わりではなく、もっとよくするために、もっと自分達の課題を解決するためには何ができるのかを生徒達が考えて行動することができた。

### 4 課題や今後の展望

- ・生徒が課題意識を持てるような学習活動を如何に創出するか。
- ・教員の体制について。（生徒の考えが浅くなることもしばしばあり、1グループに一人教員が担当できるのが望ましい。